



令和5年2月7日
 文責 校長 清水光朗

津屋崎中学校のHPも
 ご覧ください。

《 給食の食材もとである「あんずの里」の方と交流会を行いました 》

1月16日(月)、給食の地産食材の卸しもとである「あんずの里」の方と交流会を行いました。今年は、スカイルームで給食を食べている2年生との交流になりました。「あんずの里」からは、荻原組合長をはじめ4名の方が来られて、地元の津屋崎で作られている野菜についての説明をしてくださいました。荻原さんからの「季節を先取りした野菜、キャベツ、トマト、ブロッコリー、カリフラワーなどが、とてもおいしい。こういう野菜を食べて健康になってもらいたい。」や、生徒の質問に対して、「野菜をつくるうえで大変なことは、自然が相手なので、温暖化や台風、洪水などの被害を受けること、円安や資材が高くなる中で、いかに値段を高くせずに利益を出すか。」「野菜をつくるには、基本半分は経費となる。」「栽培には基本3か月かかるが、ハウスのほうれん草、レタスなどは1か月ぐらいの短いものもある。」などの話を生徒は、しっかり聞いていました。この交流会を行ってから、2年生の食材に対する知識が変わり、野菜の残食が減ったよい食育になりました。



【写真：左、あんずの里より、4名、写真：中、給食委員長の話、写真：右、地元の野菜を前に説明】

《 中学校新人駅伝大会が行われました。 》

1月21日(土)、博多の森陸上競技場で、筑前地区中学校新人駅伝大会が行われました。この大会は、中学校教育の一環として日本特有の駅伝文化を継承する機会を広くつくり、心身ともに健康な生徒を育成するとともに、生徒の相互の親睦をはかるために行われています。女子は5区間の走者5名、男子は6区間の走者6名で、引継には「たすき」を用い、学校対抗の競走となっています。本校からは、女子チーム、男子チームがそれぞれ参加しました。女子チームは1区から、福岡さん、若宮さん、和田さん、石橋さん、花田さん、という順番でつなぎ、37チーム中13位という結果でした。特に、5区の花田さんは区間2位、3区の和田さんは区間4位、1区の福島さんは区間5位の走りで、トップに引けを取らないスピードある走をしていました。男子チームは1区から、安永さん、森さん、河野さん、玉井さん、大門さん、池内さん、という順番でつないで



力走し、36チーム中17位という結果でした。この大会に向けて長い期間、朝練習や休日・冬休みの練習等、毎日の努力を積み上げ、みんなよく頑張っていました。

《 コミュニティ・フェスタが行われました。 》

1月28日(土)、福津市複合文化センター(カメラホール)にて、子どもたちが市民の皆様へ、学校・家庭・地域での取り組みを紹介するコミュニティ・フェスタが行われました。今回のイベントでは、総合司会を本校生徒会役員、村瀬(絢)さん、村上さんが務めました。学校・地域での取り組みは、生徒会役員が、スライドにまとめて発表し、入場の案内や会場の整理、子どもたちの手伝いにも本校から約20名のボランティアが参加してくれました。フェスタの主催者側から、「津屋崎中学校の生徒さんたちは、総合司会も発表も堂々と落ち着いていて、しっかり話すことができ、素晴らしいです。」や、「たくさんのボランティアの生徒が手伝ってくれて、とても助かります。」など、たいへん感心し、感謝されていました。日頃から協力でき、人のため地域のために活動でき、人前に立つときちんとした態度で堂々とやってのける先輩たちから引き継がれてきた伝統、津屋崎中学校の生徒たちの素晴らしい一面が見られた一日でした。



《 3年生は、それぞれの入試が始まりました。 》

3年生は、1月に入って、それぞれの進路へ、それぞれ違った入試形態で高校受験が始まっています。私立高校の専願・推薦入試から、公立県立高校・国立高専の特色化・推薦入試など、受験した生徒には合格発表も随時行われ、進路が内定した生徒も出てきました。進路が内定した生徒の皆さん、合格おめでとうございます。今後も、これまでと同様に目標を持ち、将来の夢に向かって、しっかりと努力してほしいと思います。現在、まだたくさんの生徒が、これから約一か月先の3月7日(火)福岡県立高校の一般入試に向けて、頑張っているところです。全員で協力して、集中して学習に取り組めるように、中学校生活最後の一月を充実したものにしていかなければなりません。次は、入試を終えた三年生の作文です。

2月に入り、卒業まで残りひと月になりました。私は先生方や両親の協力のおかげで「北九州工業高等専門学校」に推薦入試で合格することができました。私が高専への進学を決めたのは、将来の夢が関係しています。それは「日本のICT社会を発展させる」ということです。具体的には二つのことを考えています。一つ目は、日本の情報セキュリティの課題を解決することです。これを達成するために私は、企業を始めとした多くの人々が持つ個人情報を、今よりも安全に守るために、AIを導入してセキュリティを強化していくようなシステムを作りたいです。二つ目は、海外の最先端のIT技術を日本のシステムにも取り入れ、更に発展させることです。高専では5年間で工業に関する知識や技能を学ぶことができます。特にセキュリティについての専門知識を習得し、プログラミングやAIに関する技術力を養いたいと考えています。高専でしっかりと学び、夢が実現できるよう頑張ります。 【3年2組 柴田 陽翔】

《 1年3組では、「給食の食べ残しをなくそう」と学級活動が行われました。 》

この授業は、学習指導要領にある「特別活動の目標」に沿って行われました。生徒たちは、日常生活で「給食の食べ残しが多い」この現状を学級の課題として捉え、「給食の残菜を減らすために、1年3組でできることを決めよう。」という目標の授業になりました。①自分たちのアンケート結果分析、②SDGsの観点の確認、③事前に調べてきたことの発表、④給食の残量を減らすためにできること意見の交流など、生徒たちが主体的に取り組む、とても考えられた素晴らしい授業でした。その後、1年3組では残菜が減っています。今後は、他のクラスでもこのような取組の授業が広がっていくことと思います。



※ 今後の日程 3月7日・県立高校入試、8日・教員研修日、10日・卒業式、24日・修了式